

2008 年・初夏号

## CONTENTS

### 特集 ..... 4-10

#### 平成 20 年度通常総会開催される

- ・平成 20 年度事業計画
- ・役員紹介
- ・運営組織図

### トピックス ..... 11-12

- ・主な常設委員会の平成 19 年度活動報告

### NEWS ..... 2-3

- ・鋼材等高騰に関するアンケートをもとに緊急記者会見を実施
- ・保守点検専門技術者認定講習会を全国で開催
- ・防犯性能の高いシャッター・ドア等自主管理委員会の委員長に東京大学の小出教授が就任

### 新会員紹介 ..... 13

### データ ..... 13



- ( 上 ) 平成 20 年度通常総会  
(左中) 平成 20 年度協会表彰として 6 名の方が表彰された  
(右中) 鋼材等高騰に関するアンケートをもとに実施された緊急記者会見  
(右下) 平成 20 年度通常総会懇親会

## 鋼材等高騰に関するアンケートをもとに 緊急記者会見を実施！！

先に、当協会の第一種、第二種会員 104 社を対象に、鋼材等諸資材の高騰に伴う影響など実態アンケートを実施し、この結果をもとに、4 月 24 日、当協会会議室にて日刊紙、専門紙を招いて緊急記者会見を行った。岩部会長は「平成 17 年から今年 3 月末まで、当協会の会員 14 社が倒産や廃業によって協会を退会している。鋼材をはじめ原材料の高騰がその要因であり、事態は深刻さを増している。協会としては、建築・住宅関連 4 団体に協会の実態アンケートに基づいて価格改善を申し入れることにした」と発表した。

実態アンケートでは、平成 15 年を 100 とした場合の平成 19 年の購入価格は、鋼材では 144、ステンレスでは 199（いずれも資本金 1 億円未満の企業で集計）であり、これに対して販売価格では 105、106 とほとんど値上げが出来ていない実態が明らかになった。アンケートの集計は下欄に示したとおりである。

この実態アンケート調査の結果を踏まえて、5 月初め、当協会野村専務理事及び関係者が、(社)日本建設業団体連合会、(社)全国建設業協会、(社)建築業協会、(社)

住宅生産者団体連合会の 4 団体を訪問し、『鋼材等高騰に伴う価格改善のお願い』とした文書をもって価格改善への理解を申し入れた。

資材等の高騰に伴い、国土交通省からの動きもあり、6 月 13 日付けで「資材価格の急騰な変動に伴う請負代金額の変更について」として、「単品スライド条項」(\*)の運用が国土交通省地方整備局あてに通知され、当協会にもその旨の事務連絡があった。(協会ホームページ参照)

※「単品スライド」とは、工事請負契約書第 25 条 5 項に基づき、「特別な要因により工期内に主要な工事材料の日本国内における価格に著しい変動を生じ、請負代金額が不適当となったとき」に、請負代金額の変更を請求できる措置。



■会見する岩部  
会長（左）、  
東田副会長、  
後藤理事



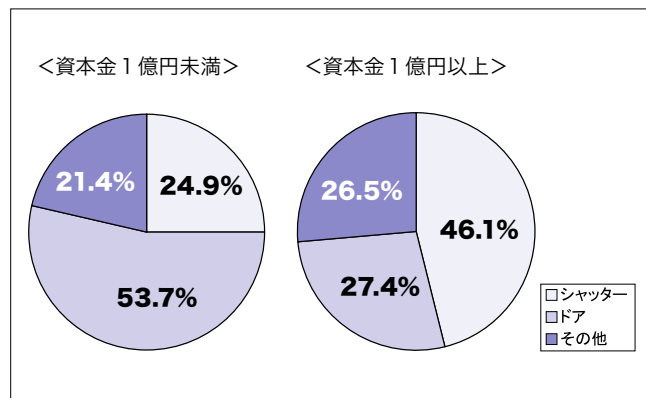
■会見に出席したプレス関係者

## 緊急アンケート集計結果

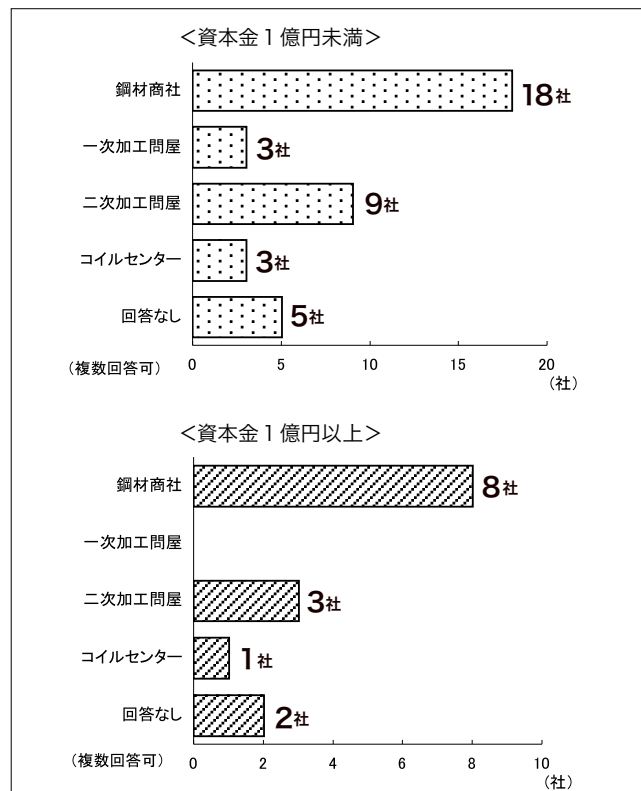
(社)日本シャッター・ドア協会のシャッターおよびドアを製造・販売する一種・二種会員 104 社を対象にアンケートを行い、このうち 43 社から回答を得た(回収率:41.3%)。また、集計は資本金 1 億円未満と同 1 億円以上に区分して行った。

資本金 1 億円未満:33 社、資本金 1 億円以上:10 社  
アンケート実施日は、2008 年 3 月 24 日～4 月 7 日

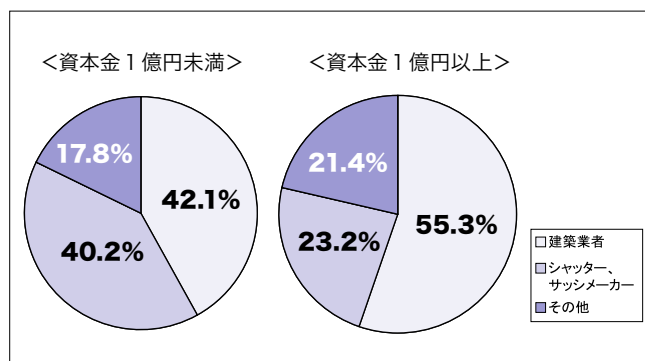
### ◎シャッターとドアの売上構成比



### ◎鋼板の仕入れ先



## ◎販売先の構成比



## ◎平成 15 年を 100 とした場合の購入価格と販売価格の推移

<資本金 1 億円未満>

|      |         | H15 | H16   | H17   | H18   | H19   |
|------|---------|-----|-------|-------|-------|-------|
| 購入価格 | 鋼板      | 100 | 115.2 | 135.0 | 140.5 | 144.0 |
|      | ステンレス板  | 100 | 111.1 | 121.4 | 154.4 | 198.6 |
| 販売価格 | 重量シャッター | 100 | 99.9  | 100.9 | 101.1 | 105.0 |
|      | 重量ドア    | 100 | 100.8 | 102.5 | 104.4 | 105.8 |

<資本金 1 億円以上>

|      |         | H15 | H16   | H17   | H18   | H19   |
|------|---------|-----|-------|-------|-------|-------|
| 購入価格 | 鋼板      | 100 | 111.4 | 138.1 | 143.6 | 147.9 |
|      | ステンレス板  | 100 | 113.6 | 129.9 | 142.5 | 213.1 |
| 販売価格 | 重量シャッター | 100 | 95.0  | 98.5  | 110.0 | 113.3 |
|      | 重量ドア    | 100 | 96.8  | 94.0  | 100.8 | 100.4 |

## 保守点検専門技術者認定講習会を全国で開催

当協会ではシャッター・ドアの点検法制化への対応を具  
体化するため、シャッター・ドア等点検法制化推進本部に  
より、点検業務基準、点検実施者の能力に応じた点検方法  
等の新たな点検体制を検討してきた。また同本部のもと、  
2007 年にスタートした「シャッター・ドア等点検制度  
検討委員会」では、点検基準の策定、点検資格者の条件、  
点検業務の指針などが検討され、点検制度のあるべき姿に  
ついて提言がまとめられた。

一方で、建築基準法による特殊建築物の定期調査制度  
では防火設備の作動点検の義務化に加え、『管理用シャッ  
ター』が「任意調査項目」となり、「本体と枠等の劣化及  
び損傷の状況」「点検口の維持保全状況」「スイッチ等の維  
持保全状況」「駆動機構の状況」「障害物感知装置の作動状  
況」の 4 項目が確認対象となった。

こうした当協会の活動と国土交通省の動きもあって「防  
火シャッター・ドア保守点検専門技術者認定講習会」の  
受講希望者が急増していることから、今年度についても  
以下の通り認定講習会を開  
催して点検法制化に向けた  
実施体制を拡充させていく。



■ 2007 年に行われた認定  
講習会の様子

## ■平成 20 年度「防火シャッター・ドア保守点検専門技術者」認定講習会開催スケジュール

| 日程      | 会場           |
|---------|--------------|
| 平成 20 年 | 4 月 18 日 栃 木 |
|         | 5 月 30 日 東 京 |
|         | 6 月 13 日 大 阪 |
|         | 6 月 27 日 東 京 |
|         | 7 月 25 日 名古屋 |
|         | 7 月 26 日 名古屋 |
|         | 8 月 8 日 福 岡  |
|         | 9 月 5 日 新 潟  |
|         | 9 月 19 日 東 京 |
|         | 9 月 20 日 東 京 |

|         |           |     |
|---------|-----------|-----|
| 平成 20 年 | 10 月 3 日  | 仙 台 |
|         | 10 月 31 日 | 大 阪 |
|         | 11 月 7 日  | 広 島 |
|         | 11 月 21 日 | 東 京 |
|         | 11 月 22 日 | 東 京 |
|         | 12 月 5 日  | 名古屋 |
|         | 12 月 19 日 | 東 京 |
| 平成 21 年 | 1 月 9 日   | 札 幌 |
|         | 1 月 23 日  | 大 阪 |
|         | 2 月 6 日   | 東 京 |
|         | 2 月 27 日  | 福 岡 |
|         | 3 月 6 日   | 長 野 |

## ■防火シャッター・ドア保守点検専門技術者認定講習会カリキュラム

| カリキュラム        | 講師                    |
|---------------|-----------------------|
| 法規            | 阿部桂一（講習委員会委員）         |
| シャッターの種類と構造   | 望月 守（講習委員会委員）         |
| ドアの種類と構造      |                       |
| 点検基準・維持管理     | 三宅一馬（講習委員会委員）         |
| シャッターの点検作業と修理 | 山口壽久（講習委員会委員）         |
| ドアの点検作業と修理    |                       |
| 安全衛生          | 古川信彦<br>(JSDA 技術第一部長) |
| 電気に関する基礎      | 神庭 武<br>(メンテナンス委員会委員) |
| 実技            |                       |

## 防犯性能の高いシャッター・ドア等自主管理 委員会の委員長に東京大学の小出教授が就任

これまで防犯性能の高いシャッター・ドア等自主管  
理委員会（以下、防犯自主管理委員会）（※）の委員  
長を務めてこられた当協会の理事でもある工学院大学  
工学部の吉田倬郎教授に代わり、今年度より東京大学  
工学部の小出治教授が新たに同委員会の委員長に就任  
された。

※防犯自主管理委員会は、当協会が防犯性能試験の申請窓口と  
なっている製品に関して公正な防犯性能の審査を行うととも  
に、防犯性能のある建物部品について自主的な評価および管  
理を行うことを目的に、2004 年に設置された第三者委員会。



# 特集

## 平成20年度 通常総会開催される

さる5月29日(木)午後、東京・千代田区のグランドアーク半蔵門において、(社)日本シャッター・ドア協会の平成20年度通常総会及び定例理事会が開催された。

その後、日刊紙、専門紙誌の記者を招いて記者会見が行われ、夕刻からは、恒例となっている各界からの来賓と会員が集う懇親会が開催された。



### 第44回 通常総会

15時より、グランドアーク半蔵門3F「ガーネット」にて、会長、副会長、理事、監事出席の下、『第338回定例理事会』が開催され、引き続き『第44回通常総会』が開催された。

定時総会の議事としては、

第1号議案 平成19年度事業報告承認の件

第2号議案 平成19年度収支決算承認の件

第3号議案 平成20年度事業計画(案)承認の件

第4号議案 平成20年度収支予算(案)承認の件

第5号議案 理事・監事選任の件

第6号議案 新会費承認の件

以上の6議案が諮られ、それぞれ原案通り承認された。

その後、優秀施工者国土交通大臣顕彰受章者表彰、委員功労表彰(各3名)が行われた。

平成19年度事業報告については、防火、防煙、防犯といった製品の調査研究事業、認定登録事業、講習事業などの定常的な事業活動が報告された。

この他、シャッター・ドア等の点検法制化を推進するた

め、「シャッター・ドア等点検制度検討委員会」では点検制度のあるべき姿について検討、提言が行われた。結果、平成19年度末において国土交通省は、建築基準法第12条第1項の指定特殊建築物の調査内容を詳細に示し、防火設備を対象とした点検に関しては一定の前進が見られたことも報告された。

会務報告としては、昨年度開催された会議、委員会等の日程と審議項目、また各事業毎に常設委員会が実施してきた活動内容が報告された。

平成20年度事業計画については7ページに別掲した。また、選任された役員の一覧を9ページ、運営組織図を10ページに掲載した。

### 関係紙・誌記者を招き 定例記者会見を開催

17時より、5F「シンフォニー」において、日刊紙、専門紙誌20社の記者を集めて、定例記者会見を行った。

会見には岩部会長、東田副会長、中屋副会長、野村専務理事、後藤理事が出席し、岩部会長のあいさつの後、



▲会見を行う岩部会長(中央)

野村専務理事より、役員改選および20年度の事業計画についての説明が行われた。

## ■協会の近況

- ・会員数は、現在201社。
- ・引き続き、当業界では鋼材など原材料の値上げが予想を上回る厳しい状況にあり、各社の経営にも大きく影響しており、地方の企業では、廃業などで退会を余儀なくされた会員もあった。
- ・協会としても、鋼材価格上昇による影響度合いなど実態

に関する調査を実施し、5月に「鋼材等の高騰に伴う価格改善のお願い」を日本建設業団体連合会など4団体に要請した。

## ■平成20年度の重点方針

1. 新たに供給するシャッター及びドアの品質や性能を、より信頼されるものとする
2. シャッター及びドアにかかるユーザー(建築主及び利用者)のニーズを的確に捉えて十分な対応をする
3. 協会及び会員の業務が社会からより高く評価されるよう努める
4. シャッター及びドアの点検を広く普及する

野村専務理事による事業計画等についての詳細説明の後、質疑応答に入った。特別事業にあげられている「シャッター・ドア等点検法制化事業」については、本年4月に、防火シャッター等の防火設備の点検を建築基準法第12条第1項の指定特殊建築物の定期報告事項とする改正がなされたこともあり、今後の動きについての関心が高かった。

## ■平成20年度協会表彰

平成20年度は、当協会の各種委員会における功績に対して学識者2名、優秀施工者国土交通大臣顕彰受章者として3名、日本シャッター・ドア協会委員会委員功労表彰として3名の方が表彰された。

### ■感謝状の贈呈

辻本 誠 東京理科大学教授  
(シャッター・ドア等点検制度検討委員会委員長)  
奈良 松範 諏訪東京理科大学教授  
(シャッター・ドア安全対策検討委員会委員長)

### ■優秀施工者国土交通大臣顕彰受章者表彰

長畑 純夫氏 三和シャッター工業(株)  
武藤 栄二氏 トステム鈴木シャッター(株)  
飯塚好農夫氏 金剛産業(株)

### ■委員功労表彰

矢部 康夫氏 シャッター技術委員会委員  
(三和シャッター工業(株))  
片野坂 尚氏 メンテナンス委員会委員  
(トステム鈴木シャッター(株))  
諸留 充氏 ドア技術委員会委員(東洋シャッター(株))



▲表彰される辻本教授



▲表彰者には岩部会長から表彰状と記念品が手渡された

## 平成 20 年度通常総会懇親会が開催される

記者会見後、18 時より、3F「華の間」において多くの来賓と会員を合わせた 225 名が参加して、恒例の通常総会懇親会が盛大に催された。

栗原事務局長の司会により開会が宣言され、はじめに新役員の紹介が行われた。次に岩部会長より定時総会で新年度事業計画などが承認された旨の報告と、業界の現状を交えたあいさつがあった。続いて、太田昭宏・公明党代表、菅義偉・衆議院議員、田中和徳・衆議院議員、平将明・衆議院議員、和泉洋人・国土交通省住宅局長よりそれぞれ来賓としてのあいさつをいただいた。

その後、当協会の活動協力に対する感謝として、東京理科大学の辻本誠教授と諏訪東京理科大学の奈良松範教授の 2 名の学識者に対して、感謝状が贈られた。

表彰式に続いて、東田副会長発声による乾杯を合図に歓談に移り、数多くの出席者が集う会場内で交歓の輪が広がっていった。

そして 1 時間程の歓談の後、和やかな雰囲気の中、今年度新任された中屋副会長による中締めが行われ、懇親会はお開きとなった。



会長挨拶



太田昭宏・公明党代表



菅義偉・衆議院議員



田中和徳・衆議院議員



平将明・衆議院議員



和泉洋人・国土交通省住宅局長



乾杯・東田副会長



中締め・中屋副会長



懇親会の様子



# 平成 20 年度 事業計画

## I はじめに

建築物は、経済活動や個人の生活を支える拠点として、求められている性能は多岐にわたっている。シャッター及びドアは、建築物における防犯等の管理性能及び防火等の防災性能を担う重要な役割を担っている。当協会は、昭和 39 年に社団法人日本シャッター工業会として設立以来、シャッター及びドアの性能向上を通じて建築技術の向上に貢献し、より安全で安心できる社会の形成に貢献してきた。

わが国の経済環境は、前年度において米国の低所得者向け住宅融資の焦げ付きに起因する国際的な金融不安の波及に加えて建築基準法の運用厳格化に伴って建築工事の減少が生じていた。さらに年度末には世界的な資源不足の展望の下シャッター及びドアの中核資材である鋼材の価格引き上げが示された。当協会会員の企業経営については一段と厳しい環境の到来が展望される中、次に述べる状況を踏まえて、当協会会員の業務がより高い社会への使命を帯びつつあることを認識して一層の努力を重ねていく決意を新たにしているものである。

当協会会員が供給してきたシャッターやドアの社会におけるストックは既に膨大なものとなっている。当協会の公益活動の目的が冒頭に述べたシャッター及びドアの性能向上を通じて建築技術の向上に貢献することにあることから、社会に存在しているシャッターやドアを健全に機能させることは安全で安心できる社会の形成の観点から当協会会員の使命であり、当協会の主要な公益活動である。また平成 20 年 12 月には、新たな公益法人制度の施行が予定されており、当協会の公益活動をさらに充実して公益社団法人への円滑な移行を達成することを目的として前年度に準備した公益社団法人移行特別委員会の活動を本格化させるべき状況にある。

平成 18 年度から同 19 年度において当協会は、シャッター及びドアにかかる点検の法制化のための推進本部を設けて活動してきた。その反映の第一段階として防火シャッター等の防火設備の点検を建築基準法第 12 条第

1 項の指定特殊建築物の定期報告事項とする改正がこの 4 月 1 日に公布された。さらなる制度上の改正が必要なくともこの間理解されてきており、引き続き具体的な制度上の改善等を提案推進することが求められている。

以上から、平成 20 年度において当協会は下記を重点方針として第一章に述べる定常的事業及び第二章に述べる特別事業を推進する。

- ア、新たに供給するシャッター及びドアの品質や性能をより信頼されるものとする
- イ、シャッター及びドアにかかるユーザー（建築主及び利用者）のニーズを的確に捉えて十分な対応をすること
- ウ、協会及び会員の業務が社会からより高く評価されるよう努めること
- エ、シャッター及びドアの点検を広く普及すること

## II 定常的事業

### 調査研究事業

シャッター、ドアに関する社会の新たなニーズの状況を把握し、これに対応すべき材料、品質規格、製造法並びに工法、使用及び維持管理の水準を明らかにすることを目的として以下の調査研究を行う。

- ・オーバーヘッドドアの断熱、遮音の試験基準
- ・防犯用新製品の認定基準の策定
- ・シャッター、ドアを総合した PL ガイドラインの作成
- ・海外先進情報の収集

### 普及事業

調査研究事業の成果を資料化して公表する。会員ほか関係者に配布、提供する。本年度においては、次の資料を改訂し、普及を図る。

- ・シャッター、ドア関連用語集（仮称）
- ・オーバーヘッドドア技術標準
- ・改正定期報告制度におけるシャッター、ドアの点検等について（仮称）
- ・高速シートシャッターの安全に関するガイドライン及び

#### 技術標準

- ・シャッター、ドアを総合した PL ガイドラインの刊行
- ・耐火クロス製防火・防煙スクリーン技術標準
- ・シャッター及びドアに関する専門書を刊行頒布

### 評定登録事業

所定の性能であるシャッター又はドア及び所定の能力を備えたシャッターの保守、検査を行う技術者について、下記の認定等を行い、登録を行う。また、これらについて所定の証紙等を発行するとともに新たなニーズに対応した運用基準等を検討する。

- ・遮炎・遮煙性能防火戸 (CAS) の承認
- ・連動機構・装置等自主評定
- ・防犯性の高い建物部品の自主管理認定
- ・保守点検専門技術者の認定
- ・検査員資格者の認定

上記中連動機構・装置等自主評定は ( 社 ) 日本火災報知機工業会及び日本防排煙工業会と共同で、また防犯性の高い建物部品については警察庁等で組織する官民合同会議に参画して実施する。

### 講習・研修事業

評定登録事業に関連する次の講習を行う。

- ・保守点検専門技術者講習
- ・検査員資格者講習

### 契約等適正化事業

シャッター及びドアに携わる者の資質を向上させ、施工、修理及び点検の業務の適正化に資する次の研修を行う。なお、資材高騰等により会員の業務が健全に行われない危険が大きい場合において記者会見等必要な対外的活動を行う。

- ・ドア標準納まり図研修
- ・工事見積もり条件等研修

### 運営管理事業

定款に定める公益目的に即した活動を推進するため、会員の拡充と意思疎通を図り、組織の意思決定を的確に行うとともに関連する諸団体や行政機構と提携して協会活動を活性化するため下記を行う。

- ・総会、理事会その他運営上必要な委員会の定期的開催
- ・事故報告制度の拡充
- ・支部活動による自主研修等を通じた会員の業務水準の

#### 向上

- ・建設業総合相談受付窓口業務 ( シャッター等鋼製建具工事 )
- ・会員の社会的責任のあり方の啓発
- ・シャッター、ドア工事危険予知訓練テキストの刊行
- ・その他関連団体の公益的行事等への協賛

上記中、事故報告制度については、公益性の高い資料提供・普及事業への移行を検討する。

## III 特別事業

### シャッター・ドア等点検法制化事業

平成 19 年度におけるシャッター・ドア点検制度検討委員会による検討結果及び建築基準法第 12 条第一項に基づく定期報告制度の改正を踏まえ、点検に関する業務のあるべき姿を実現するため、関係業界を含む社会一般の理解の浸透を図るとともに類似する装置等の業界に協力を要請し、関係行政当局に制度の充実を求めている。具体的には、以下の事項を推進する。

- ・倫理綱領、業務指針等並びに各種のシャッター、ドアの点検基準の整備
- ・保守点検専門技術者及び検査員資格者の改正定期報告制度による資格への移行準備
- ・点検を踏まえたシャッター、ドア及び関連する部分の納まり等の標準化
- ・点検方法を明確にしたシャッター、ドア及び関連する部分の取扱説明書 ( 管理者向け )
- ・行政当局によるパイロット点検調査への協力

### 公益社団法人移行事業

新公益法人制度の施行・適用を契機として当協会の公益活動を充実するため、公益社団法人移行特別委員会により下記を検討し、基本的な運営方針を定める。

- ・今後重点を置くべき公益活動のあり方
- ・新公益法人制度に照らし、整備充実が必要な協会組織
- ・新公益法人制度に照らし、定款その他の規程の望ましい改善

Ⅱ及びⅢの事業を遂行するため、平成 20 年度当協会においては、必要に応じて学識者、関連行政担当者、関連業務団体役職員の参加を求めて会員の協力による委員会を組織するとともに各事業の進行管理及び日常の活動のために必要な事務局の体制を整備する。



## 役員紹介

|       |            |                  |
|-------|------------|------------------|
| 会 長   | 岩部 金吾      | 文化シャッター株式会社      |
| 副 会 長 | 東田 誠之      | 田中サッシュ工業株式会社     |
| 副 会 長 | 中屋 俊明 (新任) | 三和シャッター工業株式会社    |
| 専務理事  | 沖村 恒雄 (新任) | 社団法人日本シャッター・ドア協会 |
| 理 事   | 後藤 忠義      | 株式会社日本シャッター製作所   |
| 理 事   | 藤田 和育      | 東洋シャッター株式会社      |
| 理 事   | 安部 佳秀      | トステム鈴木シャッター株式会社  |
| 理 事   | 岡 陽一       | 東鋼シャッター株式会社      |
| 理 事   | 小俣 雅宏 (新任) | 小俣シャッター工業株式会社    |
| 理 事   | 梶山 博俊      | 大和シャッター株式会社      |
| 理 事   | 川村 雄蔵      | 株式会社文明シャッター      |
| 理 事   | 牛頭 憲治      | 協立サッシ株式会社        |
| 理 事   | 佐々木知也      | 東工シャッター株式会社      |
| 理 事   | 佐土原 剛 (新任) | 金剛産業株式会社         |
| 理 事   | 多田 旭       | 社団法人日本火災報知機工業会   |
| 理 事   | 手島 康博      | 株式会社手島製作所        |
| 理 事   | 森田豊二郎      | ダイワ株式会社          |
| 理 事   | 吉田 倬郎      | 工学院大学            |
| 監 事   | 鈴木 眞生 (新任) | 社団法人リビングアメニティ協会  |
| 監 事   | 鐵矢 知志 (新任) | 鐵矢工業株式会社         |



岩部会長



東田副会長



中屋副会長



沖村専務理事



後藤理事



藤田理事



安部理事



岡理事



小俣理事



梶山理事



川村理事



牛頭理事



佐々木理事



佐土原理事



多田理事



手島理事



森田理事



吉田理事

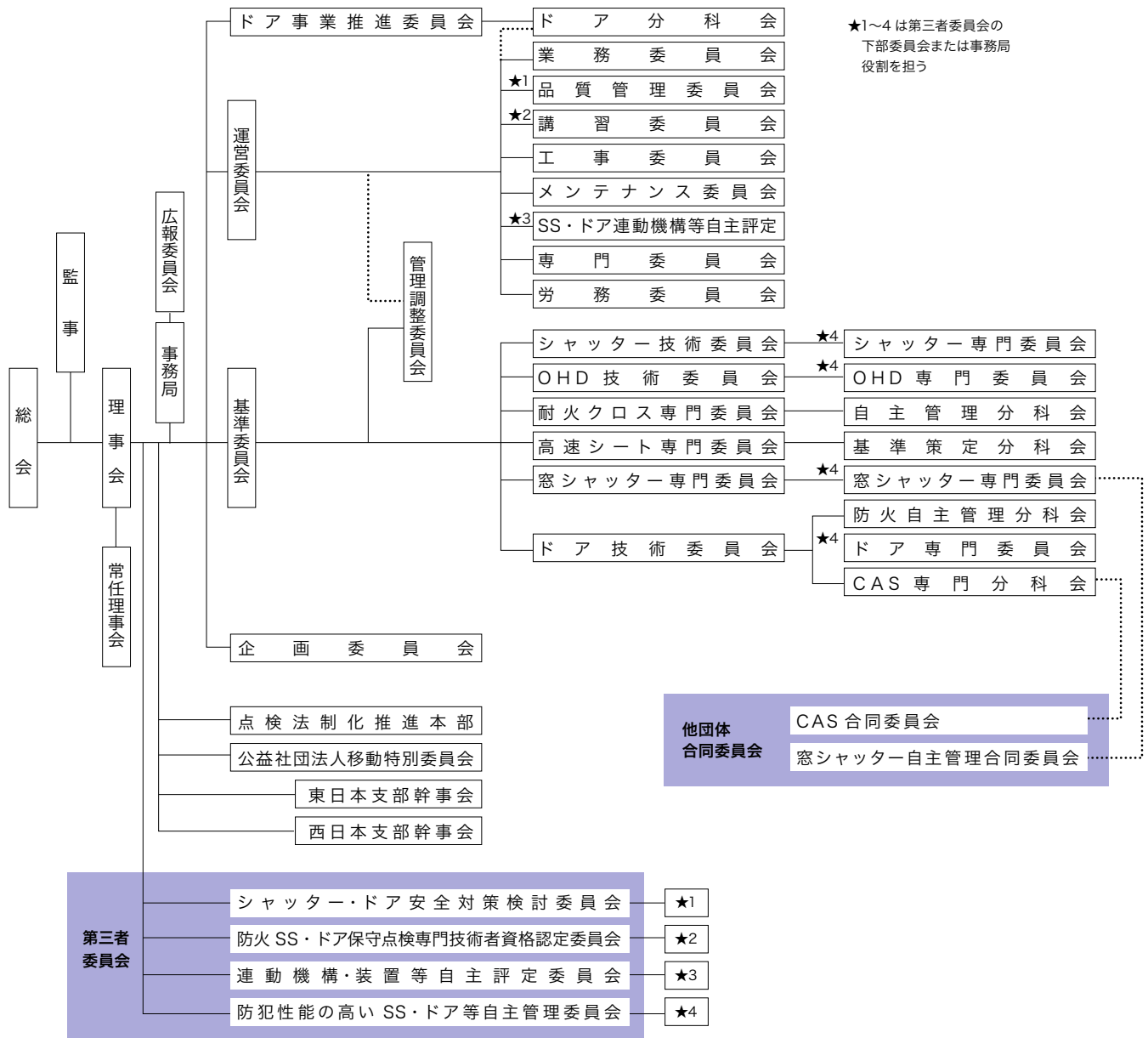


鈴木監事



鐵矢監事

## 運営組織図



### 〈事務局体制〉

- 事務局長（栗原） 会員対応、広報
- 管理部長（水島） ドア事業、防犯事業
- 技術第一部長（古川） 講習会事業、工事系委員会事務局
- 技術第二部長（宿谷） 安全対策（事故報告制度窓口）、CAS、技術系委員会事務局
- 事務担当（大谷） 経理、総務等事務全般及び会員窓口

# 主な常設委員会の 19年度 活動概要

各常設委員会より「平成 19 年度活動報告及び同 20 年度課題」が協会に提出されました。  
ここでは、前年度の活動報告を概要として掲載しました。

## 業務委員会

### 活動報告

- (1) 生産数量調査業務
- (2) 営業関連業務の調査及び調整
  - ・ 危害防止機構の周知徹底に伴うパンフレット増刷
  - ・ 建築基準法改正に伴う大臣認定書の扱いに関する情報収集
- (3) 「防犯性能の高い建物部品」の普及・促進業務・展示会立会い
  - ・ 神奈川県庁への防犯建物部品の展示
- (4) 「防火シャッター・防火戸の保守点検」法制化に向けての推進業務
  - ・ シャッター・ドア等点検指針（案）の作成
- (5) 契約適正化推進業務
  - ・ シャッターの「施工条件・範囲リスト」の作成

## 品質管理委員会

### 活動報告

- (1) 事故報告制度の推進
  - ・ 事故情報の分析および対策の検討
  - ・ 事故情報の分析結果を安全対策検討委員会に提出
- (2) 「PL ガイドライン」（1998 年版）の改訂
  - ・ 危害防止装置の性能、設置基準を追加
  - ・ カウンターの設置基準を追加
  - ・ 品質保証のひな形を変更
  - ・ メンテナンスの実施に関わる事項の見直し
- (3) 点検法制化推進への参画

- ・ 安全システム研究会が調査した修理点検結果データの分析方法を検討し、分析結果を安全対策検討委員会に提出
- (4) 用語標準化への参画
  - ・ 関連用語のとりまとめを行い、新フレームに基づいた追加用語等を選定
- (5) 改正消費生活用製品安全法の解釈、対応
  - ・ 改正消安法に関する解釈と協会としての対応にする素案の作成
- (6) 蓄電池の交換
  - ・ 製品安全上の必要から蓄電池の交換方法をホームページに掲載

## シャッター技術委員会

### 活動報告

- (1) 可動座板式危害防止機構の設置基準策定
- (2) JIS 改正対応
  - ・ 日本規格協会への改正原案の提出
  - ・ 規格調整分科会における対応
- (3) 重量シャッター技術標準の改訂版作成、配布
- (4) 防犯性能の高いシャッター・ドア等の自主管理委員会への参画
  - ・ 防犯試験の実施および書類審査
  - ・ 警察大学校における防犯講習の実施
- (5) JASS16 に関する改定案の提出
- (6) 用語標準化
  - ・ 用語標準化作業部会への用語まとめの提出
- (7) 監理指針・改修指針の改訂対応



- (8) 点検基準検討チームの依頼による点検資格者制度検討チームへの参画

## 講習委員会

### 活動報告

- (1) 防火シャッター・ドア保守点専門技術者講習会の開催(17回)。

第53回(4月27日/東京)  
第54回(5月18日/大阪)  
第55回(6月22日/福岡)  
第56回(7月19日/盛岡)  
第57回(7月20日/仙台)  
第58回(8月3日/鹿児島)  
第59回(9月27日/松山)  
第60回(9月28日/高松)  
第61回(10月19日/東京)  
第62回(10月26日/金沢)  
第63回(11月21日/静岡)  
第64回(11月22日/名古屋)  
第65回(12月7日/高崎)  
第66回(1月13日/札幌)  
第67回(2月8日/大阪)  
第68回(2月29日/福岡)  
第69回(3月7日/沖縄)

- (2) 防火シャッター・ドア検査員講習会の開催  
第15回(11月29日～30日/東京)

## 工事委員会

### 活動報告

- (1) 平成18年度労働災害発生状況調査  
(2) 危険予知訓練(KYT)モデルシート集についての審議  
・労働災害事例集(絵で見る労働災害解説)のデータ作成  
(3) シャッター・ドアの用語標準化に関する工事および設計関係の用語集の原案作成

## メンテナンス委員会

### 活動報告

- (1) 点検整備手帳作成  
・重量シャッター、オーバーヘッドドア、耐火クロススクリーン、ドアの点検手帳の作成  
(2) 点検法制化に向けた点検基準の作成(20年度も継続)  
・重量シャッターの点検基準作成は完了。オーバーヘッドドア、耐火クロススクリーン、ドアの点検基準を作成(20年度も継続)

- (3) 用語編集

・重量シャッター、オーバーヘッドドア、耐火クロススクリーン、ドアの維持管理項目について点検基準をもとに作成(20年度も継続)

## オーバーヘッドドア(OHD)技術委員会

### 活動報告

- (1) オーバーヘッドドアの本質安全性の向上  
・事故発生を未然に防止するためのガイドライン作成  
・事故情報を元にした原因の追及・事実把握により、施工要領書の改訂を工事委員会に委託  
・今後具備すべき装置の検討に関して、技術標準の改訂版に反映させる(20年度も継続)  
(2) 防犯自主管理委員会対応  
・断熱性を特徴とするオーバーヘッドドアのCPマーク取得  
(3) 試験データの試験基準の作成  
・カタログや設計資料等に掲載するデータの試験基準を整備することで公正な情報を提供(20年度も継続)  
(4) 関連官庁からの要望への対応  
・東京消防庁仕様の改定  
・断熱オーバーヘッドドアのエコマーク認定取得(20年度も継続)  
・公共建築協会編集の「建築工事監理指針」の改定  
・JISA4715の追補版の作成  
(5) 用語の標準化

## ドア技術委員会

### 活動報告

- (1) 「防火戸に関する運用の手引き」の策定、発刊  
・国土交通省告示第1360号、同1369号に示す防火戸の例示仕様についての解釈  
・防火戸の安全性についての検証  
・関連法規の紹介  
(2) 建築基準法施行令第112条改正に伴う安全性の確認  
・安全性の検証に関する「防火戸に関する運用の手引き」への折り込み  
(3) 防火ドア(B種)の管理・運営(20年度も継続)  
・試験細則の改定  
・受付審査の実施  
・防犯試験の実施  
(4) 防火・防煙ドア技術基準及び関係基準等の見直し  
・法改正に伴う安全性について追加項目の検討(20年度も継続)

## 新会員紹介

新たに 2 社の入会があり、5 月 29 日時点での会員数が 201 社となりました。

### 株式会社東洋サッシ工業（第二種会員）

代表取締役 神崎 英明

本 社 大分県速見郡

設 立 昭和 42 年 1 月 27 日

事 業 内 容 鋼製ドアの製造、販売、施工

（入会：平成 20 年 5 月理事会）

### 株式会社ナウテック（賛助会員）

代表取締役 今中 信子

本 社 東京都足立区

設 立 平成 4 年 10 月 1 日

事 業 内 容 サッシ、ドア、外壁パネル等の設計、製作、販売

建築資材の販売、付帯業務一切

（入会：平成 20 年 5 月理事会）

## DATA データ

### ●シャッター

#### ■過去 1 年間推移

（㎡、前年比・電動化率％）

|      | H19.6 月 | 7 月     | 8 月     | 9 月     | 10 月    | 11 月    | 12 月    | H20.1 月 | 2 月     | 3 月     | 4 月     | 5 月     |
|------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 重量   | 108,898 | 132,874 | 121,550 | 127,571 | 128,830 | 132,554 | 101,417 | 98,327  | 121,545 | 133,739 | 130,297 | 127,399 |
| 前年比  | -21.7   | -2.3    | -17.4   | -9.4    | -10.0   | 3.9     | -21.5   | -8.2    | 13.6    | 9.4     | 17.0    | 8.4     |
| 軽量   | 224,892 | 221,177 | 203,302 | 204,435 | 232,693 | 226,707 | 198,757 | 150,664 | 175,857 | 199,893 | 208,332 | 203,349 |
| 前年比  | -13.5   | -4.3    | -13.3   | -20.8   | -19.5   | -18.7   | -18.5   | -14.1   | -10.8   | -13.8   | -5.8    | -11.3   |
| 電動化率 | 28.2    | 27.6    | 24.0    | 26.2    | 26.5    | 26.1    | 26.9    | 26.0    | 25.9    | 24.5    | 24.7    | 25.2    |
| グリル  | 7,818   | 6,413   | 6,365   | 7,221   | 7,566   | 7,063   | 6,261   | 4,925   | 5,956   | 6,485   | 4,772   | 5,323   |
| 前年比  | 1.5     | -5.3    | -8.9    | -6.2    | 3.5     | -6.8    | -28.8   | -20.9   | -17.9   | -25.8   | -28.7   | -15.5   |
| OHD  | 18,807  | 22,732  | 19,535  | 22,407  | 23,491  | 20,588  | 20,034  | 17,899  | 19,360  | 17,152  | 15,020  | 15,689  |
| 前年比  | -17.0   | -5.4    | -24.1   | -18.3   | -12.0   | -31.3   | -31.4   | -12.8   | -18.2   | -20.9   | -19.9   | -20.9   |
| 合計   | 360,415 | 383,196 | 350,752 | 361,634 | 392,580 | 386,912 | 326,469 | 271,815 | 322,718 | 357,269 | 358,421 | 351,760 |
| 前年比  | -16.0   | -3.7    | -15.4   | -16.7   | -15.8   | -12.9   | -20.6   | -12.1   | -3.7    | -7.1    | 0.2     | -5.7    |

#### ■出荷数量年度推移（4 月～翌年 3 月累計）

（㎡、前年比％）

|     | H8        | H9        | H10       | H11       | H12       | H13       | H14       | H15       | H16       | H17       | H18       | H19       |
|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 重量  | 1,737,110 | 1,775,359 | 1,574,810 | 1,286,780 | 1,492,832 | 1,097,308 | 1,208,205 | 1,328,258 | 1,480,370 | 1,494,399 | 1,534,218 | 1,436,147 |
| 前年比 | 1.7       | 2.2       | -11.3     | -18.3     | 16.0      | -26.5     | 10.1      | 9.9       | 11.5      | 0.9       | 2.7       | -6.4      |
| 軽量  | 4,730,120 | 4,195,575 | 3,896,089 | 3,732,420 | 3,487,158 | 3,333,097 | 3,190,771 | 3,038,800 | 3,473,445 | 2,935,834 | 2,870,835 | 2,488,705 |
| 前年比 | 4.1       | -11.3     | -7.1      | -4.2      | -6.6      | -4.4      | -4.3      | -4.8      | 14.3      | -15.5     | -2.2      | -13.3     |
| グリル | 114,051   | 111,020   | 103,457   | 108,042   | 114,744   | 103,625   | 101,043   | 96,616    | 100,736   | 100,244   | 90,613    | 79,068    |
| 前年比 | 4.9       | -2.7      | -6.8      | 4.4       | 6.2       | -9.7      | -2.5      | -4.4      | 4.3       | -0.5      | -9.6      | -12.7     |
| OHD | 464,464   | 435,581   | 368,259   | 328,943   | 343,957   | 314,316   | 299,460   | 285,952   | 323,150   | 297,659   | 289,307   | 240,579   |
| 前年比 | 11.3      | -6.2      | -15.5     | -10.7     | 4.6       | -8.6      | -4.7      | -4.5      | 13.0      | -7.9      | -2.8      | -16.8     |
| 合計  | 7,045,745 | 6,517,535 | 5,942,615 | 5,456,185 | 5,438,691 | 4,848,346 | 4,799,479 | 4,749,626 | 5,377,701 | 4,828,136 | 4,784,973 | 4,244,499 |
| 前年比 | 3.9       | -7.5      | -8.8      | -8.2      | -0.3      | -10.9     | -1.0      | -1.0      | 13.2      | -10.2     | -0.9      | -11.3     |

### ●ド ア

#### ■過去 1 年間推移

（枚、前年比％）

|      | H19.5 月 | 6 月    | 7 月    | 8 月    | 9 月    | 10 月   | 11 月   | 12 月    | H20. 1 月 | 2 月    | 3 月    | 4 月    |
|------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|----------|--------|--------|--------|
| 重量ドア | 48,337  | 53,031 | 51,389 | 52,026 | 58,057 | 58,287 | 59,605 | 55,489  | 50,942   | 51,558 | 53,777 | 33,684 |
| 前年比  | 4.3     | 4.2    | 5.2    | 8.1    | 7.7    | 7.9    | 3.6    | 0.7     | -3.2     | -13.7  | -18.6  | -22.3  |
| 軽量ドア | 65,826  | 80,131 | 88,816 | 82,751 | 69,928 | 86,012 | 93,568 | 109,449 | 98,877   | 98,953 | 70,548 | 59,705 |
| 前年比  | 7.4     | 10.7   | 23.8   | 14.9   | -3.2   | 4.1    | -3.5   | 2.5     | 0.8      | -3.0   | -10.2  | -2.1   |

#### ■出荷数量年度推移（4 月～翌年 3 月累計）（枚、前年比％）

|      | H15     | H16     | H17     | H18     | H19       |
|------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| 鋼製重量 | 630,028 | 557,553 | 623,432 | 639,514 | 635,875   |
| 前年比  | -       | -11.5   | 11.8    | 2.6     | -0.6      |
| 鋼製軽量 | 894,050 | 896,529 | 956,026 | 971,002 | 1,005,818 |
| 前年比  | -       | 0.3     | 6.6     | 1.6     | 3.6       |

注）・「鋼製重量ドア」は鋼製建具を、「鋼製軽量ドア」は鋼製軽量建具を指します。

・鋼製重量ドアは、ガスチャンバー、点検口を含みます。

・鋼製軽量ドアは、日本鋼製軽量ドア協議会の統計によるもので、開きドア、引き戸、折れ戸が含まれます。



鍵違い \_\_\_\_\_  
1,000兆2,800億通りの防犯力。

**GOAL**<sup>®</sup>  
SINCE 1914



ディンプルキー・GV24リバーシブルピンシリンダー

グ ラ ン ブ イ  
**GRAND V** シリンダー

キーチェンジが必要に応じて繰り返しできる  
ユニバーサル・キーシステム(UKS2)を新搭載。

転出入の多いアパートやマンション管理に最適のキー交換システムです。

**株式会社ゴール**

URL... <http://www.goal-lock.com>

本 社: 〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北2-16-6 | 東京支店: ☎(03)3452-6341(代) 大阪支店: ☎(06)6308-5441(代) 富山支店: ☎(076)434-3971  
☎(06)6309-1271(代) FAX(06)6302-0561 | 営 業 所: 札幌・仙台・名古屋・広島・高松・福岡

## 「新日鉄の高耐食性めっき鋼板」

金属の腐食に頭を抱えている方、工程省略や部材のコストダウンを模索している方、

ぜひ、ご相談ください。

**SUPERDYMA<sup>®</sup>**  
スーパーダイマ

with 新日鉄, to win!

**新日本製鐵**  
薄板事業部

スーパーダイマの詳しいご案内は  
スーパーダイマホームページ URL/  
<http://www.nsc.co.jp/usuita/superdyma>

お問い合わせは  
E-mail  
[superdym@hq.nsc.co.jp](mailto:superdym@hq.nsc.co.jp)

# 地球環境対応型鋼板



## 住友金属工業株式会社

お問い合わせ先

〒104-6111 東京都中央区晴海 1-18-11(トリトンスクエア)  
薄板営業部 TEL:03-4416-6333 FAX:03-4416-6359

〒541-0041 大阪府中央区北浜 4-5-3(住友ビル)  
大阪薄板営業部 TEL:06-6220-5590 FAX:06-6220-5970

## 住友の環境対応型薄板製品シリーズ

### クロムフリー表面処理鋼板

電気亜鉛めっき鋼板

### スミジंकNEOコートT1

#### ■特長

1. 導電性と耐食性のバランスに優れた性能を有しています。
2. 耐型かじり性に優れており、金型寿命を向上させます。

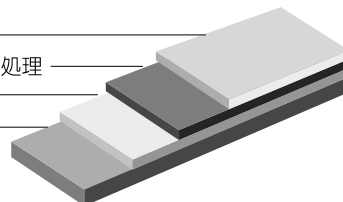
#### 被膜構成

有機被膜

クロムフリー化成処理

電気亜鉛めっき

鋼板



溶融亜鉛めっき鋼板

### タフジंकNEOコートK

#### ■特長

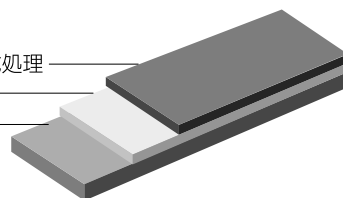
1. クロムを全く含まない特殊樹脂による新化成処理製品です。
2. 従来のクロメート処理表面処理鋼板と同等の性能を有しています。

#### 被膜構成

クロムフリー化成処理

溶融亜鉛めっき

鋼板



# ZAM

詳しくはホームページをご覧ください。

[www.nisshin-steel.co.jp](http://www.nisshin-steel.co.jp)

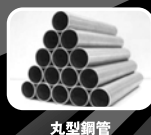


## 日新製鋼は、ZAMを通じて お客様の無限の可能性を拡げていきます。

※ZAMとは、亜鉛-アルミニウム6%-マグネシウム3%のめっき層を持つ新しい溶融めっき鋼板です。



さまざまな形状が  
ご提供可能です。



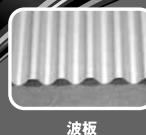
丸型鋼管



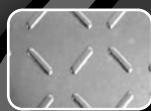
角型鋼管



溶接軽量形鋼



波板



ノンスリップメタル



一般構造材軽量形鋼



特殊形鋼



ブレノッチ形鋼



シャッター

用途：薄板建材全般

## ZAMは、「性能」「コスト」「環境」の“トリプルメリット”。



ちょっと高くてもお買い得、ZAM。

性能

亜鉛めっき製品(当社製品名ペンタイトB)に比べて10~20倍の耐食性。亜鉛-5%アルミめっき製品(当社製品名ガルタイト)と比べても5~8倍の耐食性を誇ります。

コスト

腐食環境の厳しい用途に耐え得ることから、熱浸漬溶融亜鉛めっき(後めっき)やユニクロめっきの代替としてご使用いただくことができ、お客様の工程省略が図れます。

環境

「少ないめっき付着量で高耐食性が得られる」、「長寿命化が図れる」という観点から、省資源対応の製品としての展開が期待されています。



## 入谷朝顔まつり

東京・台東区の入谷朝顔まつり（朝顔市）は毎年7月の6～8日の3日間開催していますが、今年は、洞爺湖サミットが開催されるため7月18～20日となっています。朝顔は、入谷鬼子母神を中心として言問通りに120軒の朝顔業者と100軒の露店（縁日）が並び、毎年40万人の人出で賑わっています。今年で60周年を迎え、下町の風物詩として愛され続けています。

文・写真とも「入谷朝顔まつり（朝顔市）公式ホームページ」より  
<http://kimcom.jp/asagao/index.php>



## JSDA 会報 2008 年・初夏号

発行日：2008年7月10日 通巻第25号

発行者：社団法人 日本シャッター・ドア協会

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-2-3 フナトビル 4F

tel.03-3288-1281（代）／fax.03-3288-1282

URL:<http://www.jsd-a.or.jp>